

# 出前講座の申込について

## 1 実施時期

- (1) 期間 令和4年6月1日～令和5年2月28日
- (2) 時間帯 平日の午前9時から午後5時までの必要な時間  
(50分から半日程度)

## 2 実施回数と調整

- (1) 同一校又は同一機関での同一講座の実施は年2回までです。  
※府小研研究協力校での実施は、年3回までとします。
- (2) 実施可能な回数には限度があるため、以下の調整等を行います。  
ア 申込状況によっては、希望される日程でお受けできない場合があります。  
イ 夏季休業中は、学校からの申込を優先します。

## 3 申込

- (1) 申込方法 ※各学校等の代表者・担当者から申込みます。  
①講座の担当部と電話で内容、日程等を調整してください。  
②調整後、担当部から実施可の連絡をします。夏季休業中の日程については受付期間終了後5月23日(月)までに連絡します。  
③「出前講座」実施申込書(様式4)を提出してください。

・電子メール [demae@kyoto-be.ne.jp](mailto:demae@kyoto-be.ne.jp)  
・FAX 075-612-3267

※様式4は京都府総合教育センターホームページ(ITEC)からダウンロードできます。

※電子メールでの申込は、件名に派遣希望講座の番号及び講座名を明記してください。

- (2) 実施時期及び申込受付期間

実施時期	申込受付期間
夏季休業中 7月21日(木) ～8月31日(水)	4月20日(水) ～5月13日(金)
夏季休業中以外	4月21日(木)から 申込順に日程調整

## 出前講座 担当部一覧

番号	講座名	担当部
D01	小学校国語科教育講座	研修・支援部 075-612-2952
D02	小学校社会科教育講座	
D03	小学校算数科教育講座	
D04	小学校外国語科教育講座	
D05	小学校道徳教育講座	
D06	小学校理科教育講座	地域教育支援部 0773-43-2934
D07	小学校音楽科教育講座	
D08	小学校図画工作科教育講座	
D09	小学校家庭科教育講座	
D11	中学校学力向上講座	研修・支援部 075-612-2952
D12	中学校国語科教育講座	
D13	中学校数学科教育講座	
D14	中学校外国語科教育講座	
D15	中学校道徳教育講座	
D16	中学校理科教育講座	地域教育支援部 0773-43-2934
D17	中学校音楽科教育講座	
D18	中学校美術科教育講座	
D19	中学校技術・家庭科(家庭分野)教育講座	
D21	情報教育講座	企画研究部 075-612-2950
D22	カリキュラム・マネジメント講座	
D31	特別支援教育基礎・理解講座	特別支援教育部 075-612-2953
D32	特別支援教育授業づくり講座	
D33	特別支援教育におけるICT活用講座	
D41	教育相談講座	教育相談部 075-612-2959
D51	学校事務職員支援講座	地域教育支援部 0773-43-2934
D52	キャリア教育推進講座	
D99	その他 ※上記以外でセンターが必要と認めたもの	企画研究部 075-612-2950

学校現場の多様なニーズに応える

令和4年度

# 出前講座一覧



## 出前講座3つのメリット

### 1 「働き方改革」の支援

教職員が学校を離れることなく研修を受けられるので移動の時間を短縮し、**子どもと向き合う時間が確保**できます。

### 2 「共通理解」で深まる理解

全教職員が一堂に会して研修を受けられるので**共通理解を図る**ことができます。また、演習を通して理解が深まります。

### 3 ニーズに応じた研修内容

講座によっては要請機関と相談し、ニーズに応じた内容で実施するため、**高い研修効果が期待**できます。

令和3年度

実施件数 **のべ 222件**  
受講者数 **のべ 5,909人**

多数御利用いただき、  
ありがとうございます。



オンライン研修  
もできます！

センター所員が  
訪問します！



京都府総合教育センターでは  
各学校、教育委員会、教育局、各種研究会等の  
様々なニーズに対応し、充実した研修を支援するために  
出前講座を実施しています。  
教職員の共通理解を図るため、より効果的な研修を行うため、  
出前講座を御活用ください。

京都府総合教育センター

# 小学校教育講座

## D01 小学校国語科教育講座

国語科における授業改善を推進するために、単元構想の考え方や指導方法について学びます。  
 ・学習指導要領のポイント  
 ・授業場면을想定した演習  
 ・授業研究と関連させた研修 など

## D02 小学校社会科教育講座

社会科における授業改善を推進するために、単元構想の考え方や指導方法について学びます。  
 ・学習指導要領のポイント  
 ・授業場면을想定した演習  
 ・授業研究と関連させた研修 など



## D03 小学校算数科教育講座

算数科における授業改善を推進するために、単元構想の考え方や指導方法の工夫について学びます。  
 ・学習指導要領のポイント  
 ・授業場면을想定した演習  
 ・授業研究と関連させた研修 など



## D04 小学校外国語教育講座

外国語活動・外国語科における授業改善を推進するために、教科書や教材を活用した授業づくりなどについて学びます。  
 ・学習指導要領（外国語活動・外国語科）のポイント  
 ・京都府版CAN-DOリストの活用  
 ・授業場면을想定した演習 など



## D05 小学校道徳教育講座

「道徳教育の進め方 京都式ハンドブック」を活用した道徳教育の推進の在り方や、「特別の教科 道徳」の特質を踏まえた授業づくりの工夫について、講義や演習を通して学びます。  
 ・道徳科における「主体的・対話的で深い学び」と実現する授業づくり  
 ・校内で実施する授業研究会への支援  
 ・各研究会で実施する授業研究への支援 など

## D06 小学校理科教育講座

自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するための資質・能力を育む授業づくりの在り方や指導方法の工夫について、講義や実習等を通して学びます。  
 ・学習指導要領（理科）のポイント  
 ・指導と評価  
 ・観察・実験の工夫と教材研究  
 ・教材づくり・演習 など



## D07 小学校音楽科教育講座

講義や実技を通して、教科目標を実現するための指導方法について学びます。  
 ・学習指導要領（音楽科）の指導と評価  
 ・実技研修（歌唱、器楽、音楽づくり）  
 ・音楽鑑賞や音楽づくりの指導方法  
 ・我が国や郷土の伝統音楽を児童が楽しく学ぶ指導方法 など



## D08 小学校図画工作科教育講座

講義や演習を通して、学習指導要領で求められる資質・能力を育成する授業づくりについて学びます。  
 ・学習指導要領（図画工作科）の指導と評価  
 ・実技研修（造形遊び、絵、立体、工作、鑑賞）  
 ・校内研修との連携（授業参観、協議、助言）  
 ・題材構想・評価計画 など



## D09 小学校家庭科教育講座

基礎的・基本的な知識と技能の定着を図るための指導のポイントについて、講義や実習等を通して学びます。  
 ・学習指導要領（家庭科）の指導と評価  
 ・布を用いた製作、調理実習の指導方法 など



# 中学校教育講座

## D11 中学校学力向上講座

学習指導要領で求められる資質・能力を育成するための授業改善に関する研修です。  
 ・指導と評価の一体化に関する校内研修（学習評価の在り方の検証） など  
 ・授業研究会の支援（学習指導案の作成や事前研・事後研の指導助言） など

## D12 中学校国語科教育講座

学習指導要領の趣旨に基づいた国語科の授業の在り方や指導と評価の一体化について、講義や演習を通して学びます。  
 ・国語科における言語活動の充実に向けての研修  
 ・各種診断テストの分析結果を生かした授業改善や改善に向けた支援  
 ・若手教員の支援のための学校訪問  
 ・単元構想に係る研究相談 など



## D13 中学校数学科教育講座

学習指導要領の趣旨を踏まえ、「算数・数学の問題発見・解決の過程」に基づいた指導方法の工夫・改善や教材研究の手法について講義や演習を通して学びます。  
 ・教材研究や学習指導案作成の支援  
 ・若手教員の支援のための学校訪問  
 ・授業研究会との連携（授業参観・協議・助言） など



## D14 中学校外国語科教育講座

学習指導要領の趣旨に基づいた外国語科の授業の在り方や、指導方法の工夫について、講義や演習を通して学びます。  
 ・京都府版CAN-DOリストを活用した小中高等学校外国語教育との接続を想定した言語活動  
 ・若手教員の支援のための学校訪問  
 ・各種診断テストの分析結果を生かした授業改善や学力向上策の策定の支援 など

## D15 中学校道徳教育講座

「道徳教育の進め方 京都式ハンドブック」を活用した道徳教育の推進の在り方や、「特別の教科 道徳」の特質を踏まえた授業づくりの工夫について、講義や演習を通して学びます。  
 ・「考え、議論する道徳」への質的転換を図った授業づくりとその評価の在り方  
 ・若手教員の支援のための学校訪問 など

## D16 中学校理科教育講座

自然の事物・現象について科学的に探究するための資質・能力を育む授業づくり、単元構想の考え方や指導方法の工夫について講義や実習等を通して学びます。  
 ・学習指導要領（理科）のポイント  
 ・指導と評価  
 ・観察・実験の工夫と教材研究  
 ・教材づくり・演習 など



## D17 中学校音楽科教育講座

学習指導要領で求められる資質・能力を育成するための授業改善について、講義や演習を通して学びます。  
 ・学習指導要領（音楽科）の指導と評価  
 ・表現と鑑賞の関連を図る工夫  
 ・我が国の伝統音楽の指導方法の工夫 など



## D18 中学校美術科教育講座

学習指導要領で求められる資質・能力を育成するための授業改善について、講義や演習を通して学びます。  
 ・学習指導要領（美術科）のポイント  
 ・表現と鑑賞の関連を図る工夫  
 ・地域部会との連携（授業参観、協議、助言） など



## D19 中学校技術・家庭科（家庭分野）教育講座

学習指導要領で求められる資質・能力を育成するための授業改善について、講義や演習等を通して学びます。  
 ・学習指導要領（家庭科）の指導と評価  
 ・実践的・体験的な活動の指導方法 など

こちらの一覧以外にも、京都府総合教育センターが認めたものも出前講座として実施可能です。また、講義と演習による講座、授業参観後のフィードバックを行う講座等、様々な形態で実施しています。

校内研修、各種研究会等にぜひ御活用ください。出前講座の内容やオンラインによる実施など、お気軽に御相談ください。



# その他の出前講座

## D21 情報教育講座

情報教育に関することについて、講義や演習を通して学びます。  
 ・教育の情報化や情報教育の内容、GIGAスクール構想、スマートスクール事業について  
 ・情報モラルの指導について  
 ・児童生徒の情報活用能力を育成するためのICT機器活用（1人1台端末の活用、オンライン授業等）  
 タブレット端末や無線LANの活用等については、環境に応じた内容で実施します。



## D22 カリキュラム・マネジメント講座

学校教育の改善・充実の好循環を生み出すカリキュラム・マネジメントの実現に向けて、全教職員の共通理解を図る講義・演習を行います。  
 ・カリキュラム・マネジメントの意義と概要  
 ・「現状把握」「目標設定」から始めるカリキュラム・マネジメント  
 ・「学びをつなげる」カリキュラム・マネジメント



## D31 特別支援教育基礎・理解講座

特別支援教育の基礎的な内容について、ニーズに合わせた講義・演習を行います。  
 ・通常の学級における特別支援教育  
 ・高等学校における特別支援教育  
 ・合理的配慮の提供  
 ・気になる児童生徒への指導・支援  
 ・個別の指導計画の作成と活用 など



## D32 特別支援教育授業づくり講座

特別支援学校や特別支援学級における授業づくりを支援します。  
 ・各教科等を合わせた指導  
 ・自立活動の指導 など

## D33 特別支援教育におけるICT活用講座

読み書きに困難のある児童生徒へのICT機器を活用した学習指導・支援について学びます。タブレットや音声教材などの使い方、アプリの紹介など、演習を交えながら個々に応じた学び方を提案します。

## D41 教育相談講座

児童生徒理解等、教育相談に関することについて講義や演習を通して学びます。  
 ・教育相談の基礎（児童生徒理解）  
 ・事例検討  
 ・不登校児童生徒の理解と対応  
 ・保護者とのよりよい関係づくり など



## D51 学校事務職員支援講座

学校事務職員の新時代を切り拓くために～プロフェッショナルを目指して～と題し、以下のようなテーマで実施します。  
 ① 共同学校事務室の目指すもの  
 ② 学校における働き方改革と事務職員  
 ③ カリキュラム・マネジメントと事務職員  
 ④ ICT教育と事務職員（ICT機器の利活用等）



## D52 キャリア教育推進講座

将来展望を描き、その達成に向けて主体的に学び生きる児童生徒を育むキャリア教育の着眼点や実践事例等について学びます。  
 次の11種のテーマから選択してください。  
 ① キャリア教育の「これまで」と「これから」  
 ② 必要性和意義 ③ 全体計画・年間指導計画の作成、校内組織  
 ④ 進め方、新学習指導要領における実践等 ⑤ 評価、連携の推進  
 ⑥ 実践編 京都版 小/中学校 ⑧ 実践編 他府県版 小/中学校  
 ⑩ キャリア・パスポート3年目 活用方法とその成果  
 ⑪ 「効果のある学校」の取組から学ぶ教育の可能性

※特別支援教育に関わる出前講座（D31～D33）については、希望によって京都教育大学と連携した実施が可能です。また、出前講座の際に様々な学習支援機器の展示・紹介を併せて行うこともできますので、希望される場合は申込時に御相談ください。